

中泊119

平成19年7月号

火事/救急/救助は
 119番
 五消本部病院照会
 34-4999番
 中里消防署
 57-2370番
 小泊消防署
 64-2375番

『中里中学校』 避難訓練実施

6月6日に中里中学校で避難訓練が行われました。雨のため屋内となり生徒たちは先生方の指示に従い各教室から避難場所の体育館へ避難しました。体育館内では中里消防署長が生徒たちへ避難訓練の大切さを教え、生徒たちは真剣に話を聞いていました。



署長の話を真剣に聞く生徒達



避難訓練

『内潟療護園』 避難訓練実施

6月7日に内潟療護園で避難訓練が行われました。避難終了後には消火器による消火訓練・屋内消火栓を使用した放水訓練など、職員たちは一生懸命訓練していました。



消火訓練



放水訓練

中泊町消防団第7分団 普通救命講習Ⅱ

6月10日に第7分団員が中泊町豊岡、鶴寿荘で普通救命講習Ⅱを受講しました。受講者はAED(自動体外式除細動器)の使用法や異物の除去法など救命講習に熱心に取り組んでいました。



チョーキング(異物の除去)



ハイムリック法(異物の除去)

夏の川・海には 「ご」注意を!

7月にはいと、レジャーに出かける機会が増えます。そのため、この時期の水難事故も急激に増えます。十分に気をつけて楽しむようにしましょう。



《対策》

○ライフジャケットを着用する
磯釣り・プレジャーボート・遊漁船からの海中転落事故の生存率は約60%ですが、ライフジャケット着用時の生存率は90%を超えています。

○連絡手段を持つ

防水バックに入れた携帯電話やホイッスルなどは周囲に存在を知らせるための有効な手段となります。

【注意事項】

☆海水浴の場合

気がつくまで浜や岸から遠く離される「離岸流」に注意しましょう。遊泳エリアを守り、疲れている時や睡眠不足などの時は無理をして泳がないようにしましょう。飲酒中、飲酒後の海水浴は、絶対避けましょう。

☆磯釣りの場合

釣り場は足元がぬれていて滑りやすいことや、時として大波が押し寄せることもあり、海への転落事故が起こりやすくなります。万が一の事故に備えてライフジャケットを必ず着用し、服装は赤や黄色など目立つ色の服装にしましょう。

海に転落したときは

まず大事なのは、混乱やパニックにならず、体を安定させながら浮くことです。ライフジャケットを身に付けていなかった時は、ペットボトルやクーラーボックスなどが、浮きの代わりになります。

周囲の人が転落した時は、まづ浮きになるものと、身体を固定するロープなどを投げ込んでください。それから救助を求めてください。